

教科等研究会（小学校家庭部会） 令和元年度 研究活動のまとめ

1 研究テーマ

くらしをみつめ、家族の一員としてよりよい生活を創り出す児童の育成
～児童が達成感をもち、家庭での実践につながる授業づくり～

2 研究経過

第1回			第2回			第3回			第4回		
6/3	19人	広安西小学校	8/2	嘉島西小学校	実技研究会	11/28	甲佐中学校	村岡美紀子 教諭	1/23	木倉小学校	富永万智 教諭

3 研究の概要

(1) 研究の内容

①調理実習と軽食レシピ作成

パーティー料理で簡単にできる軽食【①フライパンで餃子の皮ピザ ②早わざサンドイッチ ③豆腐入り白玉団子 ④フルーツ白玉 ⑤たこ焼き器でミニパンケーキ】の調理実習を行った。家庭科指導書に紹介されている軽食等を実際に調理し、児童が作る際にどのような配慮が必要なのかを知ることができた。調理工程や注意事項を言葉や写真を使って示したり、制作時間を明記したりするなど、実際に児童が自分でレシピを見て調理できる「軽食レシピ」を作り、各学校で活用できるようにした。



【グループでの調理実習】



【軽食レシピ作成】



【出来上がった軽食レシピ】

②研究授業

題材名 中学1年B「食生活と自立」 授業者 甲佐中学校 村岡 美紀子 教諭

中学校技術・家庭部会（家庭分野）との合同研修を行い、中学校家庭分野の授業を参観した。本題材は、自分の食生活をふり返り、健康によい食生活にするために、栄養素の種類やはたらきを知り、一日に必要な食品の栄養と献立を立て、将来、自立した食生活を送ることができるようにすることをねらいとしている。生徒に夕食一食分の献立を立てさせることで一日分の献立を見直し、一日の栄養を満たす献立にするための工夫や改善点、気付きなどを出させた。「e 食材辞典」をタブレットで活用しながら、課題解決に向けて班員と真剣に話し合う姿がみられた。



【グループでの課題解決】



【e 食材辞典の活用】

【ワークシート】

(2) 成果と課題 (成果○ 課題●)

- 課題解決学習を行うことで、児童生徒の意欲を高め、主体的に学習することができた。
- タブレットを活用した「e 食材辞典」や商品の実物を見せるなど、教具の充実が児童生徒の学習意欲を高め、学びを深めていく手立てとなった。
- 他教科との関連を図ったり、児童が達成感や成就感を味わうための手立てや工夫をしたりして、家庭での実践意欲につなぐことができた。
- 中学校技術・家庭部会との合同研修を行うことで、小学校や中学校の実態、小学校の家庭科学習でつけるべき力、それが中学校の学習でどう深められるかなど、小中の連携を図ることができた。今後も合同研修会を続けていくことは有意義である。
- 実技研では、児童の視点で調理実習を行うことができ、すぐに児童が使える「軽食レシピ」を完成させることができた。今後、各学校で十分に活用していきたい。
- 授業の内容が盛りだくさんで十分な話し合い活動ができず、学びを深められなかった。児童生徒の実態に合うか内容を整理し、視点を絞って教材研究をしていく必要がある。

4 実践事例

(1) 授業の概要

題材名 5年「じょうずに使おうお金と物」(開隆堂) 授業者 木倉小学校 富永 万智 教諭

<自評>

- ・児童の実態として、今まで自分で考えて買う機会が少なかったため、これから自分で考えて買えるような授業づくりを行った。
- ・児童が考え、意見を交換する時間をもっと取りたかった。時間配分が上手くいかず、深める時間が短かった。
- ・オレンジジュースの品質表示は、実物を使った。紙媒体より実物の方がより実践的であり、児童の興味を引くことができた。
- ・次時では、おつかいの宿題の内容から、何を根拠に買ったのか考えを深めていきたい。また、次時では、児童が興味をもっている買い方の指導を行っていく。キャッシュレスなどの使い方も指導したい。

<研究協議>

- ・将来のためには、児童自身がいろいろな視点をもつことが大切だと感じた。
- ・家庭科における情報活用は何だろうか。情報を調べる力か情報から考える力かポイントをしばってもよいのではないか。
- ・情報を調べる時間が長かったので、情報が記載されている場所を分かりやすくするために、ジュースの容器に矢印などをつけておいてもよかったのではないか。論議に時間をとるのであれば、もう少し情報整理をさせておいてもよかったのではないか。
- ・陳列棚の後方から商品を取るという児童の意見から、食品ロスを考える機会となったのではないか。次時に児童に考えさせるといいのではないか。
- ・社会科の流通とも関連させてもよかった。

<まとめ>

- ・情報に気付く、気付こうとすることが大切ではないか。家族のためという視点がよかった。児童の意欲付けができていた。
- ・授業の中で、ポイントが多いように感じた。工夫して整理するかポイントをしばるといいのではないかと思った。
- ・買い物には、「持っているが2つ目を買う」「買ったけど後悔した」「宅配ピザを注文したけどキャンセルできるか」など他にもさまざまな視点がある。いろいろな視点で授業を展開していくのもよいと思う。
- ・教師の家庭科を楽しむ姿勢が児童に伝わって、生き生きと活動する姿がみられた。

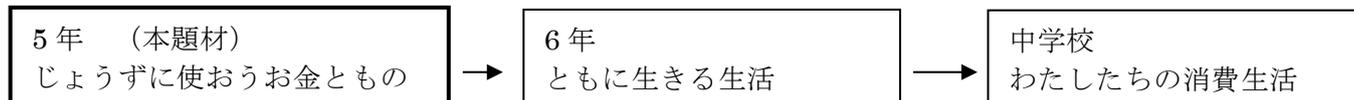
(2) 学習指導案

1 題材名 5年「じょうずに使おうお金と物」(開隆堂「わたしたちの家庭科5・6」P58～61)

2 題材について

(1) 本題材では、物やお金の使い方を児童が自分の生活体験から振り返り、工夫して、買い物ができるようにすることが目的である。そのためには、学習に使う物や遊びに使う物など、児童の身近な物から取り上げ、自分や家族の生活と結び付けて考えさせることにより、日常生活で実践できるようになることが大切である。購入する際には計画的にお金を使うこと、必要な情報を集め判断することを意識させることが、日常生活での実践意欲でつながる。自分の消費生活に目を向け、一人の消費者としてよりよい消費生活を実践できる態度と能力を身に付けさせたい。

(2) 本題材の系統は次の通りである。



(3) 指導にあたっては次の事項に留意する。

- 生活とのつながりを深めたりや児童の意欲を高めたりするために、児童にとって身近な題材を取り上げる。
- 児童を取り巻く環境に十分配慮して学習を行う。
- 買い物ゲームの学習を通して、持続可能な社会の構築への関心をもたせ、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付けさせる。また、社会科や総合的な学習、道徳科との関連を図る。
- 学習を生活に生かすために、家庭との連携を図り、学習後に買い物の実践を課題として行う。取り組んだ後、家庭からのコメントや友達との振り返りを通して、児童が達成感をもてるようにする。

3 題材の目標

- (1) 買い物の仕組みや消費者の役割が分かり、物や金銭の大切さと計画的な使い方について理解する。
- (2) 身近な物の選び方、買い方を理解し、購入するために必要な情報の収集・整理が適切にできる。
- (3) 購入に必要な情報を活用し、身近な物の選び方・買い方を考え、工夫する。

4 題材の評価規準(国立教育政策研究所作成の「評価規準の設定例」)

家庭生活への関心・意欲・態度	生活を創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての知識・理解
①物や金銭の計画的な使い方に関心を持ち、適切に買い物しようとしている。 ②自分の生活と身近な環境との関わりに関心をもち、環境に配慮した生活をしようとしている。	①物や金銭の計画的な使い方と適切な買い物について課題を見つけ、その解決を目指して考えたり、自分なりに工夫したりしている。 ②環境に配慮した生活について課題を見つけ、その解決を目指して考えたり、自分なりに工夫したりしている。	①物や金銭の計画的な使い方と適切な買い物に関する基礎的・基本的な技能を身に付けている。	①物や金銭の計画的な使い方と適切な買い物について理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。 ②環境に配慮した生活の工夫について理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。

5 指導計画

次	時	主な学習活動	関	創	技	知	他教科との関連
1	1	<u>生活の中でお金がどのように使われているか考えよう。</u> ・ お金やものの使い方を見直す。 ・ 必要かどうかを判断する必要性を考える。 ・ 計画的に購入するための方法を学習する。	①			①	社会科、道徳科、算数
2	2	<u>買い物のしかたを考えよう。</u> ・ 生活を支えるお金が何に使われているか考える。 ・ 収入と支出のバランスについて学習する。 ・ 品物の選ぶときの視点を考える。 ・ 買い物をするときの手順を考える。	②	②			社会科、算数
	3 本時	・ 買い物ゲームを行い、商品を選択する。 ・ 買い物をするときの情報収集の方法を学習する。 ・ 商品選択の視点を考える。		①			社会科、理科、算数

4	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物できる場所や、支払い方法には様々なものがあることを学習する。 ・時と場合に合った、商品の購入方法を考える。 ・これまでの学習を振り返り、これからの生活に生かす。 		①	②	社会科
---	--	--	---	---	-----

6 本時の学習 (3 / 4)

(1) 目標 品質や価格などの情報を活用し、根拠をもってオレンジジュースを選ぶことができる。

(2) 展開

時間	学習活動	◎教師の発問や指示 ・予想される児童の反応	指導上の留意点と評価	備考
5分 10分	1 前時の学習を振り返る。 2 課題を確認する。	◎前回、買い物は計画的にする必要性を考えたことを振り返らせる。	○様々な家庭の事情があることに配慮する。 ○実際に起こりうる場面を設定することで学習意欲を高める。	ワークシート タブレット
7分	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">誕生日会で飲むオレンジジュースを家族のために選ぼう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族4人で飲むオレンジジュース (1L程度) 	◎課題に入る前に、食品を購入する際、重視するポイントを考えさせる。 ・値段・量・産地など ◎どのオレンジジュースをどんな理由で選ぶか考えさせる。 ・賞味期限が長いものがいい ・果汁100%がいい ・安いものがいい ・体にいいほうがいい ・産地はどこだろう ・どんな容器に入っているか	○自分のためではなく、家族みんなで飲むオレンジジュースにすることで、相手意識をもたせるようにする。 ○何を根拠に選んだらいいか分からない児童には、食品を選ぶ際のポイントを振り返らせる。	資料 オレンジジュース ワークシート
10分	3 多様な情報の中からオレンジジュースを選び、選んだ理由をワークシートに記入する。			
10分	4 選んだオレンジジュースとその理由をグループで交流する。 ・一人→グループ→全体 ・意見交流をした後、友達の意見も参考にしながら、もう一度選びなおす。	◎友達は何を根拠にオレンジジュースを選んだのか知り、もう一度考えさせる。 ・表示をしっかり見ることが大切 ・根拠をもって選ぶことが大切		
10分	5 ワークシートに「買い物名人4か条」を記入し、意見を交流する。 6 おつかいの課題を確認し、学習を生活に生かす。		【生活を創意工夫する能力】 A: 情報を取捨選択しながら根拠をもって商品を選んでいる。(観察・ワークシート) B: 商品に関する情報を得て、根拠をもって商品を選んでいる。 ○正解はないことを伝え、自分で目的にあったものを選ぶために情報を収集することが大切だと感じさせる。	